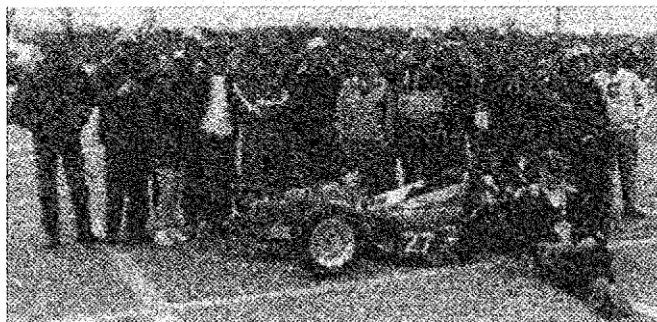


「何かモノを作ったことがあるだろうか？」

私はこの原稿を書くにあたって自問自答してみた。私たちの生活は非常に便利で、身の回りを見渡してみると何もかもが完成品、もしくはプラモデルのように部品を組み立てれば良いというモノで囲まれている。今回、レーシングマシンを製作する（後に詳細を示します）という企画に参加してモノ作りの難しさをイヤというほど痛感させられた（まだ、設計の前段階の状態なのですが）。何が難しいかというところ、サスペンション・トランスミッション・ブレーキがどういうモノなのかは知っていても、それを全体としてどのようなバランスに設計したら良いのか、どのような順序で作業を進めていけば良いのかというところが分からないのである。

某レース雑誌に、「……教育の大部分が「理解」をないがしろにして知識の習得に集中しがちである。……私たちの周囲には、本やマルチメディアやインターネットから、情報や事実が氾濫している。だが重要なのは、このな





飯場 俊秀  
明治大学大学院  
理工学研究科機械工学専攻

レーシングマシン製作  
に参加して

関東支部

かから事実をどのように見いだして理解するかということ、……」という記述があった。まさに、私たち（エンジニアの卵たち）の状態を言い表しており、これからの勉強への取り組み方を見直さなければと思いました。

その点、この企画はモノ作りの難しさと楽しさを両方体験できる良い機会であると思います。自分の頭の中に思い描いたことを試行錯誤しながら実現に向けて努力するので、巧くできたときのことを考えると結構ワクワクします。

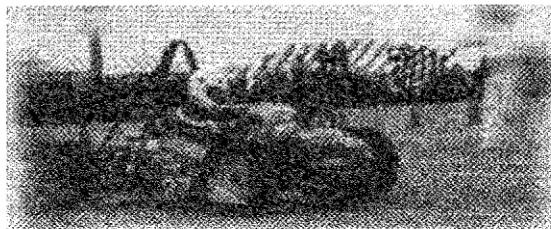
現在、私を含め9人の者でFormula SAE 実行委員会なるものを編成しており、4月から設計作業に入れるようにレギュレーションの把握・スポンサー探しなどを行っています。98年度の目標としては、まず1号車を完成させることを掲げており、最終的には西暦2000年に本大会に参加できればいいなあと考えています。

最後に、Formula SAE Racing のことについて簡単に説明しておきます。また、この企画に少しでも興味を持たれた

方は、最後に記載されている者まで連絡して下さい。やる気のある人を募集しています。

### Formula SAE Racingって何？

Formula SAE Racingは北アメリカのデトロイトで1981年から毎年行われているレースです。フォード、ジェネラルモータース、クライスラーの共同出資によるこのレースは、1996年にはアメリカの86の大学及び高等教育機関が参加するまでになっています。このレ



ースのコンセプトは学生のみでチームを結成し、設計・製作からチーム運営、テスト走行、レースに至るすべての作業を自分たちの力でやっていくというものです。

マシンはフォーミュラタイプを基本とし、排気量610cc以下の4サイクルのエンジンを使用するというものです。レギュレーションは安全に関する事項以外はそれほど厳しい制約がなく、設計者のアイデアを十分に盛り込むことができるように配慮されています。

明治大学大学院 理工学研究科  
機械工学専攻 応用力学研究室  
飯場 俊秀

ce77202@isc.meiji.ac.jp

TEL 044-934-7171 (5536)